

事務事業名	コード1	10600	飯岡福祉センター運営事業	事業種別	<input type="checkbox"/> 国土強靱化地域計画	課	社会福祉課		
	コード2				<input type="checkbox"/> 新市建設計画	所属班	社会班		
施策体系	施策	5	保健の充実	事業種別	<input type="checkbox"/> 総合戦略	電話番号	62-5317	内線	144
	施策の展開	11	健康づくりの推進		<input type="checkbox"/> 復興計画	予算科目	会計 一般会計		
				事業種別	<input type="checkbox"/> 定住自立圏構想	款	3	項	1
					<input type="checkbox"/> 行政改革アクションプラン	目	1		
				<input type="checkbox"/> 主要事業	根拠法令	飯岡福祉センターの設置及び管理に関する条例			
				<input type="checkbox"/> 簡易評価					

1 現状把握(Do)

(1) 事業概要

① 事業期間	② 事業の内容 ※何をどのようにする事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input checked="" type="checkbox"/> 平成 17 年度～ <input type="checkbox"/> 開始年度不詳 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで ※全体像を記述→	市民の福祉及び健康の増進を図るため設置された公共施設の管理と運営を行う。 市民が健康の維持・増進を図るため、広間や浴室を利用できる。また地域福祉推進の拠点として旭市社会福祉協議会及び訪問・通所介護事業所が併設されている。 利用時間 午前8時30分から午後5時15分まで 休館日 月曜日・祝日(祝日が日曜日に当たるときは、その翌々に振り替え、月曜日に当たるときは、その翌日)・年末年始(12月28日～1月4日) 利用料金 【市内】一般200円 月額2,000円 小中学生・高校生100円 団体(20人以上)1人当たり150円 ・【市外】市外はそれぞれ1.5倍 設備 ふれあい広間・浴室、研修室、相談室、ラウンジ、ボランティアルーム その他 (一般の利用はできない) デイサービスルーム・特別浴室・機能回復室・事務室・リフトカー・ワゴン車 【業務の流れ】 基本協定の締結(3年に1度) 事業計画書の受理及び年度協定の締結・(毎年)→委託料の支払い→業務報告書の受理→委託料の精算

(2) トータルコスト

① 費目の内訳(26年度の実績) 単位:千円		単位	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(計画)
1.指定管理料	14,306	指定管理料	千円	12,661	13,002	14,306
2.修繕料	0	修繕料	千円	0	0	0
3.通信運搬費	0	原則指定管理料内で賄う。一度の修理で金額が50万円以上の大きな修繕の場合には市予算より支出。	千円	0	0	0
4.手数料	0	手数料	千円	0	0	84
② 特定財源の内訳(26年度の実績) 単位:千円		事業費計(A)	千円	12,661	13,002	14,306
1.国庫支出金	0	1.国庫支出金	千円			
2.都道府県支出金	0	2.都道府県支出金	千円			
3.地方債	0	3.地方債	千円			
4.その他	0	4.その他	千円			
前年度比増減理由:修繕料及び社会福祉協議会職員の人件費増に伴う指定管理料の増		5.一般財源	千円	12,661	13,002	14,306
③ 延べ業務時間の内訳(26年度の実績) 単位:時間		人件費	人	0.01	0.01	0.01
指定管理に係る手続き等の一般事務 3時間		延べ業務時間	時間	3	3	3
		人件費計(B)	千円	11	11	11
		トータルコスト(A)+(B)	千円	12,672	13,013	14,317

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	⑤ 活動指標名	単位	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(計画)
	26年度実績(26年度に行った主な活動) 施設の維持・管理及びサービスの向上のため、指定管理制度を利用し旭市社会福祉協議会に委託し運営した。 27年度計画(27年度に計画している主な活動) 施設の維持・管理及びサービスの向上のため、指定管理制度を利用し旭市社会福祉協議会に委託し運営した。	ア 開館日数/年 イ 利用者人数(延べ) ウ 登録会員利用者人数(延べ)	日	291	285	282	292
目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	⑥ 対象指標名	単位	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(計画)
	市民(市外の方も利用可) (特に老人クラブなどの高齢者)	ア 旭市人口(各年4月1日現在) イ 65歳以上人口(各年4月1日現在)	人	69,223	68,725	68,241	67,819
上位目的	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	⑦ 成果指標名(考え方)	単位	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(計画)
	・健康維持・増進 ・施設利用を通じて交流する(コミュニティの場としての機能)	ア 1日あたりの利用者数 () イ 1日当たりの登録会員利用者人数	人	78.5	82.6	74.2	71.7
上位目的	④ さらに、どんな上位目的に結び付けるのか	⑧ 上位成果指標名(考え方)	単位	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(計画)
	市民が健康を保つことができる	ア 医療費の減少、心身の健康の満足度UP(利用者アンケートの実施)	千円%	未実施	未実施	未実施	未実施

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 開始したきっかけは何か?どんな経緯で始まったか?	② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか?開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったか?	③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
保健センターと併設されている本施設は平成8年5月に竣工・6月12日より供用開始され、福祉センター部分を飯岡町社会福祉協議会に委託し、運営を行ってきた。平成17年の合併により、各市町社会福祉協議会が統合されたことを受け、指定管理者を旭市社会福祉協議会に指定し、平成18年より運営管理を委託している。	建築年数の経過に伴い、施設および設備の修繕が必要となっている。	特に把握していない。

事務事業名	飯岡福祉センター運営事業	課名	社会福祉課	班名	社会班
-------	--------------	----	-------	----	-----

2 評価(Check1)担当者による事後評価

目的 妥当性 評価	① 施策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ この事務事業の目的は市の施策体系に結びつくか？意図することが上位目的に結びついているか？	利用者が施設利用を通じて交流し、健康増進・維持を図ることは市民が健康を保つことに繋がり、施策体系に結びついている。
	② 対象・意図の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	利用者が主に高齢者であり、それ以外の利用者が少ない。しかし、施設設備は高齢者以外の利用促進を図ることが難しいものであり、対象を高齢者に絞って利用促進を図ることが現実的である。
	③ 行政関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して実施すべきか？	市民の交流の場として利用者同士の交流を促進し、健康増進を図る施設の運営を民間事業者で行うことは難しく、市が行うことは妥当である。
有効性 評価	④ 成果の現状水準	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ あるべき水準や目標に達しているか？近隣市や類似団体と比較してどうか？	利用者数が減少しており、見直し余地がある。
	⑤ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 活動量を増やせば成果は向上する ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 活動量を増やさなくても、やり方を工夫することで成果は向上する ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 活動量を増やしたり、活動を工夫したりしても、今以上成果は向上しない ⇒【理由】↷ 次年度以降の成果向上が期待できるか？事務事業を取り巻く環境変化等を考慮するかどうか？成果の向上余地はどの程度あるか？	固定利用者が多いため、新たな利用者を増やすことで成果が向上する余地がある。また、利便性向上の手段として開館日を増やしたり、営業時間の延長などが考えられるが、設備のメンテナンスにかかる時間の確保や職員にかかる負担、また、人件費の増加が懸念されるため、慎重に検討する必要がある。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある ↳ (1) 事務事業名：(いいおかけんこうセンター) <input type="checkbox"/> 統廃合ができる ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 既に統廃合・連携している ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 目的を達成するには、この事務事業の他(民間・国県を含む)に方法があるか？ ↓ 他に手段がある場合 (1)具体的にはどのような事務事業か？ (2)類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	いいおかけんこうセンターも健康増進を目的とした施設であり、連携が考えられるが、設備利用想定者が異なり、実際に連携を行うことは難しい。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(表面トータルコストの事業費部分)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 事業費を削減できないか？(経費の精査、過剰仕様の適正化、回数削減、住民の協力、アウトソーシングなど)	老朽化に伴い指定管理料に占める修繕費が増加の傾向にあり、事業費の削減は期待できない。 H24 1,031千円 H25 806千円 H26 1,257千円
	⑧ 人件費の削減余地(表面トータルコストの人件費部分)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ やり方の工夫(業務プロセスの改善など)や臨時職員の活用・委託により、正規職員の延べ業務時間を削減できないか？	いいおかけんこうセンターと一本化して指定管理者に委託することで、基本協定の締結等にかかる業務時間を削減することは可能性として考えられる。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	公募による委員を含む旭市指定管理者選定委員会の審議を経て、指定管理者が選定されており、公正である。また、受益者負担については、平成26年10月に類似施設との均衡を図った見直しを行っており、公平公正である。

3 評価(Check2)担当課長による評価結果と総括

(1)1次評価者としての評価結果		(2)全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	指定管理者による管理運営は概ね順調であるが、供用開始から19年経過しており、今後の維持管理費の増加が懸念される。また、利用者の固定化が見られるため、新たな利用者を増やす必要がある。更にいいおかけんこうセンターと一括して指定管理者に委託をするなど更なる人件費の削減を検討する必要がある。
② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	
③ 効率性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(Plan)

(1)今後の事業の方向性(複数選択可) ※2~3年後を目処にした方向性		(3)改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善による成果向上 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善による事業費削減 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携(関連事業：) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善による延べ業務時間削減 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化																						
(2)改革改善案について ※いつまでに、なにを、どうするのか？ いつまでに なにを、どうするのか？																							
①、②平成28年3月	①新たな利用客を増やすための具体策の検討 ②いいおかけんこうセンターと一括指定管理者委託の検討	<table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上	○			維持				低下			
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上	○																					
	維持																						
	低下																						
(4)改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 ①老朽化した施設、他施設との連携が困難な中での利用客増加策の検討 ②健康管理課との調整																							